

発行所: 社会民主党全国連合機関誌宣伝局
週間(水曜日発行)
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
電話 代表03(3592)7515
●振替00140-1-3203 ●定価180円
●1ヶ月700円 ●送料160円
編集: 沢田 享子
〒520-0051 大津市梅林1丁目4-15
電話 077-522-2572
発行日: 2014年4月6日

おとなキラリ 子どもキラリ

沢田たか子 活動特集 No. 81

流域治水推進条例制定

2月定例会県議会では、知事任期の満了年にあたり、滋賀県政を誰がどのように担っていくと県民の安心や福祉向上に繋がるのか、特に継続審議の流域治水推進条例の制定ができるかなど、緊張感に満ちた審議を行った。また、新年度から議会を過期制にすること、来年4月に執行する県議会議員選挙の定数と選挙区の変更を決定した。「対話の会・しがねっと」会派を代表して、富波議員が予算編成、防災対策、治水対策、産業や農業政策、教育施策など7項目について、嘉田知事の考え方を質した。

沢田たか子議員は、すべての子どもの可能性を輝かせる滋賀の取り組み、新公営企業会計の導入について一般質問をし、予算委員会での質問を含めて、県民の立場で政策の提言を行った。

基本構想仕上げ

Q 「スポーツと文化の10年」として、産業・経済・環境・教育・福祉・医療など、あらゆる分野

で力強く、有効に展開していく節目の年である。知事は2期8年間で、しっかりと踏ん張って、行財政計画を押し進め、後年度につけを回さない様に、選択と集中により取り組まれたが、滋賀県基本構想の仕上げの年にあたり、何を重視して予算編成に臨んだのか。

スポーツや文化の持つ大きな力を重点施策に

健康・医療、水環境など成長分野への支援、

「住み心地日本一の滋賀」の実現に全力を傾けます。

策、女性の活躍推進、在宅看取り体制づくりなどです。②自然の力を引き出すことで、琵琶湖など豊かな滋賀の自然環境を守ることに力を入れ、再生可能エネルギー関連施策や、試験研究機関の連携による琵琶湖の生態系の解明などに取組みます。③地と知の力を引き出すことで、たくましく活力に満ちた滋賀を実現することを目指します。中小企業等の活性化や、

て、危機管理センターの整備や、流域治水、学校・警察施設の耐震化を図ります。未来戦略プロジェクトを強力に推進し、「住み心地日本一の



知事に初陣から支援している仲間たちと出馬要請

基本構想の目標達成のため、4点に力を入れて予算を編成しました。①人の力を引き出すことで、人生を通じて県民のくらしを応援します。具体的には、少子化対策、若者の雇用対

策、女性の活躍推進、在宅看取り体制づくりなどです。②自然の力を引き出すことで、琵琶湖など豊かな滋賀の自然環境を守ることに力を入れ、再生可能エネルギー関連施策や、試験研究機関の連携による琵琶湖の生態系の解明などに取組みます。③地と知の力を引き出すこ

治水対策を一刻も早く

Q 昨年の台風18号を経験して、県内全域の治水対策をどう推進するのか。

A 県内には天井川が81河川もあり、全国で最大です。この天井川の対策が大変重要です。平地化や河道拡幅、堤防強化対策など、重点的に取り組みます。

Q 流域治水推進条例が修正されたが、早く流域治水の取り組みを進めるべきだ。

A 台風18号災害に伴う県民意識の高まりなどを踏まえ、骨格はしっかりと堅持しながら、一部修正しました。地元住民への説明会では真剣な意見交換となり、貴重な多くの意見を反映した条例です。



信楽焼のぼん太の広場(有楽町駅地下)

原発事故で子どもたちの心身に深刻な影響

Q 知事はあらゆる災害に備えて、命を失うことがないよう、正しく知って正しくおそれ、一人一人が備えておくことの大切さを訴えている。どんな災害も生命を奪われる危険性をはらんでいるが、発災後も長期にわたって、どのような被害をもたらすか、未解明の部分を残しているのが原子力災害である。子どもたちの将来にわたって、健康で生き続けられる環境を維持できるように、原子力災害時における

放射線対策はできているか。
A 放射線による被ばくを、特に子どもたちに避けるためには、放射性物質の拡散予測と正確なモニタリングによ

内部被ばくに対する防護対策

Q 万一の事故の時、放射線から子どもたちを守る安定ヨウ素剤の備蓄や、その服用に関する備えはできているのか。
A 高島市、長浜市の一部区域の住民を対象として、安定ヨウ素剤の備蓄を進めていま

す。具体的にどういう状況で服用するのか、医師の間でも様々な意見があり、防災計画の中に反映するよう努めます。

広域避難計画と要援護者

Q 原子力災害に係る広域避難計画策定に当たって基本的な考えは何か。

A 人間関係継続のため、同一地区の住民の避難先は同一地域に確保すべきです。渋滞を避けるため、バスを中心に、鉄道その他の移動手段を確保したうえで、段階的、計画的に移動することが効果的で重要です。

Q 要援護者対策を早急に確立する必要があるがどうするのか。

A 備蓄物資の整備補助や地区別の広域避難に関する研修会の開催など、今までの取組の充実を図り、社会福祉関係者と役割分担し、連携を深め、要援護者対策を強化します。



福島原発事故から3年、びわこ集會参加のみなさんと

ウ素剤の備蓄を進めていま

Q 高齢社会で、地域交通は重要な社会基盤である。また、来訪者も、駅でバス経路や時

エコ交通の推進策は

刻表がはっきり分かりやすいと、便利さだけでなく車内での地域の人との触れ合いができる。

紀行」を首都圏で配布し、宿泊型観光をPR
③地元と連携した公共交通利
用促進への支援
④自転車条例を7月に施行する草津市と連携し安全利用の啓発などを行います。

人に優しく

A 「滋賀交通ビジョン」で人と環境に優しく、魅力と利便性の高いエコ交通の推進を大きな柱にしています。

- ① 信楽高原鐵道の運行再開にむけた情報発信への支援
- ② 「びわ湖周遊浪漫

滋賀の農業政策は万全か

Q 担い手育成と持続可能な農業をどのように進めているか。

A 地域の話し合いにより定める「人・農地プラン」の策定状況は、1月末時点の策定集落数は482集落となり、25年度の目標数を上回り順調に進んでいます。

Q 近江米などの主要品目及び滋賀ならではの伝統野菜など多様な農産物のブランド化を図る戦略をどう展開するのか。

A 近江米は、環境こだわり栽培による安全・安心、近江牛は品質の良さ、近江のお茶は日本最古の歴史、湖魚は琵琶湖特有の水産資源と古い食文化など、それぞれの特徴を県内外に発信することでブランド力の向上に努めます。県産農畜産物の消費拡大に取り組み、ブランド力の向上に繋いでいます。



県民サロンに導入された県内産間伐材の机や避難所仕切板

35人以下学級が小4に拡充

いじめがなく、どの子ども 目も輝かせる毎日に



会期半ばで先に採決するため、平成25年度補正予算の聞き取り

Q 専門家を交えたいじめ対策研究チーム会議を開催して、おとなの側からの考えを引き出した、子ども県議会などで、子どもの側からの意見を聞いてきた。子どもは自分自身や周りのおとななどをどう見ているのか、またどう見られているかなど、子ども

から見たいじめの背景を解きほぐすために、これからのような考えのもとで、対策を進めるのか。

A いじめ防止基本方針に謳っていますように、子どもの視線に立って、子どもの最善の利益の実現を目指すことを対策の基本としています。子どもの声を聴く力をつけられる大人を育てることに力を入れてきました。

Q 点数では表されないのが子育てであり、教育である。テストの出来栄に一喜一憂するのではなく、子どもも教職員も、可能性を引き出し合い、輝き合える関係が必要だ。子どもの興味や関心を引き出し、つまずきや悩みに寄り添い、ともに解決する力になるよう、人間関係を十分育てる学校にするため、教職員の研修にどう取り組むのか。

A 教員がまず子どもを理解し、子どもとの間に信頼関係を築くことや、子どもたちが互いにつながり、尊重し合える集団を築くことが重要です。総合教育センターで、つながりを大切にした学級経営などをテーマに研修しています。

失敗や悩みを共有し信頼を

新公営企業会計と健全経営は

Q 新公営企業会計導入の効果として、団体間での経営状況の比較分析が容易となり、県民への正確な財務情報の開示が可能になるとされているが、予算案では判りにくい。平成26年度予算はどう変化するか。

A 工業用水道事業、水道用木供給事業ともに、若干の利益減少はあるものの、当年度純損益は黒字となる見通しです。

Q 病院事業庁は、認知症やがん対策、日々高度化する医療へ対応しながら、県民の健康増進に取り組んでいる。いかにして県民とともに健全経営を図るのか。

A 安定した経営基盤の確立を図りつつ、県立病院としての役割を踏まえ、全職員一丸となって、県民の皆様へ、安心、安全で、質の高い医療を提供します。



福井市内ファーストウッド社で木材流通の拡大に向け会派で調査

CARAT滋賀・女性

Q 女性の力で滋賀を元気にするため、来年度の女性の活躍推進方針は何か。

A 女性も滋賀も宝石のように輝くという思いを込めて「CARAT(カラット) 滋賀・女性・元気プロジェクト」を取りまとめました。①働く場への参画拡大に向けた支援、②意思決定過程への参画拡大に向けた支援、③様々な場面での能力発揮支援です。埋もれている女性の力が最大限に発揮されることは、滋賀の地域・経済の活性化に必要不可欠です。

Q 女性の活躍推進と起業支援はどうか。

A 長時間労働の解消や意欲高揚を目的とした講座の開催、開業資金に新たに「女性創業枠」を創設し、起業を支援します。

沢田たか子議員は精力的に調査や研修 市民後援会も積極的に支援

沢田たか子議員は、議会の閉会中に県内はもちろん、県

外にも足を延ばし、政策の調査や研修を精力的に続けてい

ます。また、県民から様々な要望を聞き、その解決に向け福祉や経済関係のことは、所属する厚生産業常任委員会で反映しています。

これに合わせ、市民後援会でも語る集いの開催や議会報告書の送作業などに積極的にかかわり、沢田議員を支援しています。皆さんもぜひご参加ください。



日米地位協定の不平等さを講演された前泊博盛氏のサインを頂く



甲賀市長から信楽高原鐵道の復旧支援要請を受ける



県庁中庭のしだれ桜 忙しい合間にホッと一息



沢田たか子と語る集いで政策の説明をする



入館者を惹きつけ魅力いっぱい
福井県立恐竜博物館で

＜主催：沢田たか子市民後援会＞

住み心地日本一の滋養を創ろう！

沢田たか子 市民後援会総会と語る集い

とき 5月11日(日) 14:00~16:30

ところ 明日都浜大津:4階・視聴覚室
大津市浜大津4丁目1-1 077-527-8351

日程 第1部 14:00~第9回市民後援会総会
第2部 15:00~沢田たか子と語る集い
福島県の元公立中学校教員 遠藤 陽子 さん
第3部 17:00~懇親の集い(希望者による懇親会)

特別
ゲスト

- 会場は京阪浜大津駅下車すぐです
- 明日都浜大津は有料駐車場ですので、お気を付けてお越し下さい。
- 1部と2部は事前予約の必要ありませんので、どなたでも時間の許す限りお越しください。
- 第3部希望者は予約が必要で、参加費を頂戴します。車の運転はできません。

■ 問合せ先
沢田たか子市民後援会
事務局長 藤本 一也
077-578-2268



誰も信じられない
「アンダーコントロール」だから

沢田たか子 (市民後援会)

出前トークもさせていただきます。ご連絡ください。

自宅・事務所 〒520-0106 大津市唐崎3丁目23-30
TEL/FAX 077-579-0713

議員控室 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1 県庁2階
TEL 077-528-4057/FAX 077-527-1839

E-mail ▶ t.sawada@purple.plala.or.jp
ブログ ▶ <http://www.sawadatakako.net>